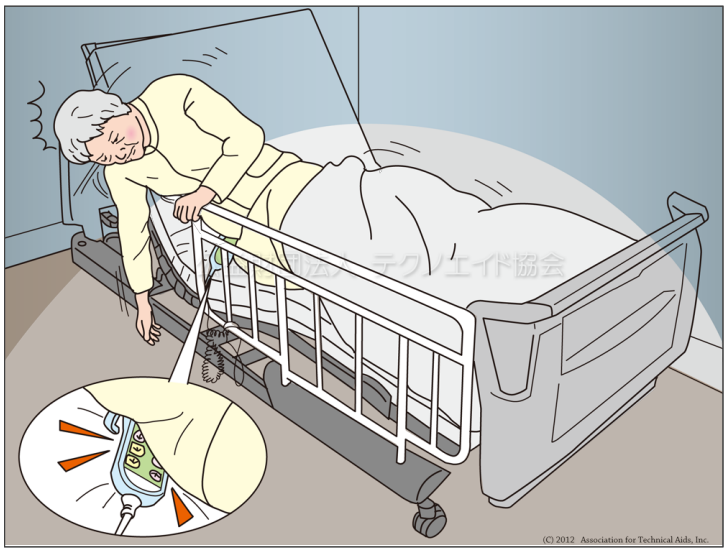
Case：31

マットレス上の手元スイッチが作動し、転落しそうになる

場面の説明

ベッドの柵（サイドレール）にかけてあった手元スイッチが落ち、利用者の下敷きになっていることに気づかず、操作ボタンが押された



利用シーン	起居・就寝 リモコン操作
主な利用場所	寝室
介護保険の種目	特殊寝台
分類コード (CCTA95)	181209 (電動ギャッチベッド)
介護テクノロジー	ー
二次元バーコード	

解説

利用者自身で操作する場合、手元スイッチは常に手元に置いておきたいものではありますが、誤って身体の下に入り込んだりするとこのような事故を引き起こしかねません。正しい格納場所に置くことを習慣づけてください。また、操作ボタンとは別に電源の入切が付いている手元スイッチでは、このような事故が起きにくくなります。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

人：手元スイッチが身体の下にあることに気づかない
モノ：手元スイッチをかけるフックが劣化している
環境：夜間で明かりもなく手元スイッチが見えづらかった

作成：公益財団法人テクノエイド協会
Copyright 2026 Association for Technical Aids, Inc. All Rights reserved.